第２回秋田市マイタウン・バス西部線運行協議会議事要旨

１　日　　時　　平成19年３月３日(土)　午前10時00分～午前11時30分

２　場　　所　　新屋支所　２階会議室

３　次　　第　　(1)　開会
(2)　委員紹介
(3)　会長あいさつ
(4)　議題
①秋田市マイタウン・バス西部線の運行状況について
②秋田市マイタウン・バス西部線の運行ダイヤの見直しについて
③秋田市マイタウン・バス西部線の利用促進策について
④その他
・４月ダイヤ改正について
・アンケート調査について
(5)　閉会

４　出 席 委 員　　(1)相場(義)会長　(浜田振興会会長)
(2)赤田委員　(下浜地区保健推進員会会長)
(3)安宅委員　(長浜第二親睦会会長)
(4)佐々木委員　(豊岩中ＰＴＡ会長)
(5)伊藤委員　(下浜小ＰＴＡ会長)
(6)秋元委員　(浜田小ＰＴＡ会長)
(7)一関委員　(秋田中央トランスポート株式会社営業部長)
(8)相場(文)委員　(秋田市交通政策室長)
(9)安藤委員　(H18.11死亡　代理 遠藤下浜名ヶ沢部落副会長)

５　欠 席 委 員　　(1)相原委員　(浜田地区保健推進員)
(2)大倉委員　(豊岩地区振興会会長)

６　事務局出席者　　藤原交通政策室参事
北川交通政策室長補佐
小玉交通政策室主席主査
池田交通政策室主査

７　議事要旨

会　　長	それでは次第に従い、①秋田市マイタウン・バス西部線の運行状況について、②秋田市マイタウン・バス西部線の運行ダイヤの見直しについてを一括して、事務局より説明をお願いする。
事 務 局	（４の議題の①と②について説明）
会　　長	説明した件について質問等はありますか。
委　　員	なし
会　　長	次に、③秋田市マイタウン・バス西部線の利用促進策について説明をお願いする。
事 務 局	（４の議題の③について説明）
会　　長	説明した件について質問等はありますか。
委　　員	どのような人がバス利用しているかを把握する必要がある。携帯電話により、バスの運行状況がわかるようにするべき。児童たちに対し環境面から、バス利用等について教育していく必要がある。
事 務 局	今回提示した利用状況は、人数だけで男女や年齢等の区分はされていない。今後、実施予定であるアンケートにおいて把握したいと考えている。市のホームページにおいて情報掲載しているが、携帯電話での情報提供については、今後研究したい。市としても環境面からの公共交通の利用促進は大切であると考えており、児童たちへの教育に関しては、教育委員会と協議していきたい。
委　　員	利用者としては、駅まではバス、その後は列車を利用することから、列車との連携を考える必要がある。
事 務 局	ダイヤ改正時に列車と連携を図った見直しを検討していきたい。
委　　員	集約するにしても、各地区においてどのような時間帯に利用するのか、必要なのかを議論し、運行していただくことが大切である。
事 務 局	今後実施予定のアンケート調査や今回の利用実態調査の資料を踏まえて地元で検討いただいた結果をもとに、次回の運行協議会において協議し、よりよいダイヤ改正としたいと考えている。
委　　員	高齢となったときの足の確保の必要性について、地域全体として意識改革を行

うことが必要である。今後、子供は減少していくことから、子供のバス利用は減少していくものと考えられる。２年後に新屋市民サービスセンターができることは、バスが発着するところに支所や公民館が入ることから、バス利用を促進させる良い機会となるものと考える。

委　　員　　高齢者に対する秋田市のバス料金補助等の制度についてお知らせ願いたい。

事 務 局　　市では、70歳以上と対象とした「ゆうゆう乗車券」を発行している。1,000円の回数券を600円に割り引いて、月７冊まで販売するものである。６級の身体障害者については、年齢に関係なく無料となる。また、820円で「一日乗り放題乗車券」も販売しており、多くの方から利用されているとのことである。

委　　員　　秋田まで出向くときなどは、バス料金が高くなることからほとんど「一日乗り放題券」を利用している。

委　　員　　会社で人事関係の仕事をしている。通勤手当においてバス通勤で申請しているが、実態は電車、車という場合があり、利便性を考えるとバスの方がよいと思われる。現在、母親が秋田まで通院しているが、片道800円であり負担となっている。今後、実情に応じた本数、時間帯について検討することとなると思うが、その際には料金についても検討していただきたい。

事 務 局　　現在、雄和地域において「ユーグル」が１回100円で運行されているが、地域間の公平性という点から見直しが必要とされており、当地区においても料金を低減することは難しいものである。

委　　員　　空バスを走らせないために、申し込み制など将来的に研究する必要があるのではないか。

事 務 局　　現在、市では北部地域においてバス利用者が少ないという点から、運行形態の見直しを検討している。その中において、デマンド式という予約を受けてその時のみ運行するという運行形態について研究しており、来年度、実証実験を行う予定である。その際に、デマンド式がどのようなものかを体験していただくことも可能である。また、町内において、今回の資料をもってダイヤ等について検討する際には、市から説明に伺うことも可能である。

委　　員　　利用者数に応じて車両を小さくすることにより、経費を削減できるのではないか。

委　　員　　豊岩線と下浜線を結んだ環状路線も検討してはどうか。

委　　員　　暑い日、寒い日バス停で待っているのは大変であることから、早めに新屋案内所前のバス停に車両を入れて乗車させるというサービスが利用促進につながるのではないか。

委　　員	新屋案内所前のバス停に車両を入れる件については、会社として「グリーン経営認証」を取得し、環境負荷の少ない事業運営に取り組んでいるところであり、また、あまり早く入れるのは保安上の問題もあり、今後、適切な時間について相談させてほしい。
委　　員	５分位前に、配車してもらえればよい。
委　　員	地球温暖化という観点から、長い時間エンジンをかけていることは好ましくなく、３分位がよいのではないか。新しくできる市民サービスセンターの中にも待合い機能も入ることとなっており、環境面から多少の我慢は必要と考えている。
事 務 局	バスを配車した際に、待合所に一声かけることも一つの方法である。
会　　長	以上で、議事を終了する。
事 務 局	（４の議題の④について報告） （相場室長あいさつ）

以　　上